

議題（１）令和３年度お知らせ事項

1. 県内受給者数の推移（令和２年度神奈川県難病対策協議会(書面会議)資料より）

平成30年度	令和元年度	令和２年度 (R3.1.31 現在)	R3.1.31 現在 横須賀市内
19,900 人	20,466 人	21,999 人	3,093 人 (再掲)

2. 令和３年度の特定医療費（指定難病）受給者証更新手続について

- ・原則郵送とし、集中受付期間を設けず行った。令和３年９月３０日に受付を終了。
- ・10月１日以降は原則更新申請は受けつけないが、やむを得ない理由があり、提出前に県に相談・了承した方はその旨のメモ等を添付し、受け付ける事例あり。

特別な事情がない場合は、10月１日以降の更新は受け付けず、新規申請となり、認定となった場合の有効期間開始日は申請を受け付けた日となることは例年と変わらず。

- ・更新の横須賀市保健所窓口申請者は今年度284人となり、令和元年度が1,873人であったことを鑑みると大幅に減少した。（令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため更新はなく、受給期間が手続きなく1年間延長された。）

・12月13日に開催された県内の難病地域支援ネットワーク事業等担当者会議において県から報告があり、今年度は郵送であったため、記入漏れ等の不備が例年より目立ったとの話あり。来年度については新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、方法を検討していくとのこと。

3. 令和３年度横須賀市の難病関係事業について

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、下記のように縮小しています。

- ・交流会：中止
- ・患者会への職員派遣：中止
- ・相談会：11月28日神経系相談会を募集3人で開催。
2月28日2疾患系（神経系・整形外科系）相談会を募集枠各3人で開催予定
- ・講演会：1月14日のIgA腎症・多発性嚢胞腎講演会を定員を20人に絞って開催予定
- ・相談対応：基本電話対応、必要性に応じて訪問
- ・更新手続：基本郵送、集中受付期間は設けず、来所者は通常窓口で対応

4. 対象疾病の追加について

下記の疾病が指定難病の対象疾病として令和３年11月１日から追加されました。

- 334 脳クレアチン欠乏症候群
- 335 ネフロン癆
- 336 家族性低 β リポタンパク血症1（ホモ接合体）
- 337 ホモシスチン尿症
- 338 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症
- 288 自己免疫性後天性凝固第X因子欠乏症
(自己免疫性後天性凝固因子欠乏症の1つとして追加)